

児童みんなに歯ブラシのプレゼント 山陽物産株式会社

ホテル用備品を製造している山陽物産株式会社＝北黒田＝（武内英治社長）は6月1日、町内全ての小学校に計1,830個の歯ブラシセットを贈呈しました。

この取り組みは今年で5回目。「歯と口の健康週間」に合わせ、「少しでも地域に貢献したい」との思いで毎年この時期に行われています。岡田小学校の代表として受け取った檜垣光くん＝恵久美＝は、「修学旅行でも使いました。ありがとうございます」と話していました。

①贈られた歯ブラシセット ②左から武内社長、庭瀬教頭、檜垣光くん



池内勝彦さんが寄付 松前町大規模地震災害対策基金

前松前町消防団長の池内勝彦さん＝神崎＝は5月29日、大規模地震災害対策基金に寄付をしました。

池内さんは37年間町消防団に所属し、このうち10年間は消防団長を務めるなど、地域防災の中核的存在として活躍しました。岡本町長は、「志を受け止め、災害対策のために役立てます。池内さんには、長いキャリアを生かして今後も地域で活躍してほしいです」と話していました。



満田泰三さん、矢田弘さんが受賞 愛媛県文化協会 25周年記念功労者表彰

県文化協会は5月10日、創立25周年記念式典を開き、同協会の発展に貢献した特別功労者など25人を表彰しました。

松前町からは、長年町文化協会に所属し、町の文化振興のために尽力した前会長の満田泰三さん＝新立＝に特別功労者表彰が、現会長の矢田弘さん＝昌農内＝に功労者表彰が授与されました。

受賞に対し、満田さんは「みんなの協力のおかげです」と話し、矢田さんは「今後は中高生の若い力をいかに取り込むか考えていきます」と意気込んでいました。



前会長 満田 泰三 さん



会長 矢田 弘 さん

松前中学校が優秀賞に輝く 「消せないよ 書かれた言葉と かなしみは」

松前中学校は6月5日、「平成30年度情報通信の安心安全な利用のための標語」の学校部門で四国総合通信局長賞を受賞しました。これは、年々所持率が増えているスマートフォンなどの安全利用に関するルール作りを目的に、授業の一環として作成したものです。

生徒会長の山本悠太さん＝宗意原＝は、「全校で安全利用に関する取り組みを活発にしていきたい」と話していました。



＊旭日双光章【地方文化功労】

藤岡 千賀子 (抱玉) さん ふじおか・ちかこ (ほうぎょく)
愛媛女流書家連盟会長 77歳 北黒田

昭和46年に書道会「玉星会」を主宰。愛媛女流書家連盟会長や県美術会理事を務め、書道の普及発展に尽力しました。また、中国やポルトガルでも書作展を開催し、国際的にも活躍しています。

受章に対し、「言葉では言い表せないほどの喜びです。今後も書道文化の裾野が広がるよう尽力し、松前町に貢献したいです」と話していました。



＊瑞宝双光章【情報通信行政事務及び同事業功労】

上枝 繁 さん うええだ・しげる
元郵政省電気通信局電波部検定課検定試験官 88歳 徳丸

昭和25年に電波監理委員会四国電波管理局に採用された後、四国管内で勤務。昭和59年からは郵政省電波部検定課で無線従事者国家試験の検定試験官として従事し、情報通信行政の推進に尽力しました。

受章に対し、「よき上司や同僚、部下に恵まれ、無事職務を果たすことができました。関係した皆さんに感謝しております」と話していました。

叙勲で本町から3人が受章 春の叙勲、高齢者叙勲

政府が平成30年4月29日付けで発表した「平成30年春の叙勲」で藤岡千賀子(抱玉)さんが、同じく3月1日と4月1日付けで発表した「高齢者叙勲」で上枝繁さんと山口久夫さんが、それぞれ受章しました。

受章者の主な経歴とコメントは次の通りです。



受章伝達式。写真左から岡本町長、山口久夫さん、妻の美智子さん、飯尾中予地方局長



＊瑞宝双光章【地方自治功労】

山口 久夫 さん やまぐち・ひさお
元宇和島地方局総務福祉部長 88歳 西古泉

昭和20年に宇和島土木事務所に採用された後、土木事業関係の事務に20年以上従事。本庁勤務を経て、昭和62年から退職までの1年間は宇和島地方局総務福祉部長を務め、県行政の進展のために尽力しました。

受章に対し、「長寿に恵まれ、栄えある受章ができて光栄です。これもひとえに温かく接してくれた人々と家族のおかげと感謝しています」と話していました。



軽スポーツで深める交流の輪

フレッシュ・リブまさきふれあい軽スポーツ大会

男女共同参画社会づくりを目指した「第13回フレッシュ・リブまさきふれあい軽スポーツ大会」は6月10日、松前公園体育館で開かれ、201人が軽スポーツで交流を深めました。

大会では、「みんな集まれ! 学ぶ・つながる・広がる わ!」をテーマに、二人三脚や玉入れ、ぞうきんリレーのほか、紙飛行機の飛距離を競う「飛んで飛んで飛んで」など10種目の競技を実施。4チームに分かれ、勝敗を競いました。

ホッケースティックを使った「目指せ! ホッケー選手」に参加した澤田恵子さん＝永田＝は「競技自体は簡単だけど、孫と歩調を合わせるのが難しかった」と話し、一緒に参加した孫の倫太郎くんは「楽しかった」とはにかんでいました。

参加者は、心地よい汗を流しながら、年齢や性別を越えた交流を深めていました。



④自分で作った紙飛行機を飛ばす ⑤ホッケースティックを使ってボールをゴールまで運ぶ ⑥バンに向かつて一直線



自転車の安全利用を進めるために

自転車無料点検

伊予交通安全協会と伊予地区自転車商組合などは5月17日、エミフル MASAKI で「自転車無料点検」を行いました。

この取り組みは、自転車のブレーキやチェーンの整備状況などを点検することで、利用者の安全意識を高めるために実施したものです。点検を受けた人たちは、ブレーキがききにくくなっていたりチェーンがたるんでいた様子を見て、点検の大切さを再認識していました。自転車は、定期的に点検を行い、安全運転を心掛けましょう。



きれいな花が役場でお迎えします

高校生が花壇を植え替え

伊予農業高等学校園芸流通科の1年生10人は6月7日、授業の一環で、役場玄関の花壇の植え替えを行いました。

玄関を飾る新たな花は、ポチュラカ約300株です。赤、白、黄などの色とりどりの花は、生徒たちの手によって手際よく丁寧に一つずつ植えられていきました。

玄関を彩るポチュラカは、7月中旬からが見ごろで、秋ごろまで楽しむことができます。



町内のスポーツ少年団が交流

スポーツ少年団交歓会



④どちらも譲らないリバウンド ⑤優勝した北伊予の少年団



「平成30年度第1回スポーツ少年団交歓会」は5月26日、松前公園体育館で開催されました。

交歓会では、松前、北伊予、岡田の少年団がミニバスケットボールで交流試合を実施。真剣勝負で白熱した試合を繰り広げ、交流を深めました。

<試合結果>

優勝 北伊予 準優勝 松前女子



差別のない社会を目指して

2018 明るい人権の町づくり大会

「2018 明るい人権の町づくり大会」は5月26日、文化センターで行われ約450人が参加しました。

開会行事では、人権・同和教育の推進のために尽力した前松前町人権対策協議会事務局長の末岡静雄さん＝徳丸＝に松前町人権教育協議会表彰が贈られました。

その後、伊予高等学校の柚山教諭と生徒の皆さんが「内藤素行の生き方」を発表。分かったことを実行する強い気持ちを持ち、誰もが安心して暮らせる社会をつくろうと訴えました。

続いて、不慮のバイク事故で右腕を失いながらも日本初の義手の看護師となった伊藤真波さんが講演。苦手なことから逃げずに「あきらめない心」を持ち続け、現在は子育てにも奮闘中というひたむきな生き方に、会場中が感動に包まれていました。



ビオトープに住む生き物を知ろう

エミフル MASAKI 勉強会

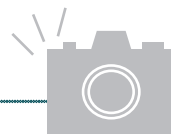
エミフル MASAKI (山口徹支配人) は6月3日、ビオトープに関心を持ってもらおうと勉強会を開催しました。

勉強会には、親子連れなど約50人が参加。古泉駅南側の「ビオトープエミフル」を管理している平井屯さん＝昌農内＝による講演「ビオトープに住む生き物たちのつながり」では、ビオトープができるまでの取り組みや維持管理の苦労が紹介されました。また、会場には生き物たちを紹介したパネルが展示され、訪れた人たちはメモを取るなど熱心に勉強していました。

④展示パネルでビオトープに住む生き物を知る ⑤熱心に講演を聞く



④講演をする伊藤さん。最後にはバイオリンの演奏も ⑤末岡さんへ表彰状の授与 ⑥劇を交えて内藤素行の生き方を考える



自然の大切さを肌で感じる

アユの稚魚を放流

重信川漁業協同組合（本多義雄代表理事組合長）は5月22日、重信川流域にアユの稚魚を放流しました。

稚魚の放流は、河川環境保全への意識向上と漁業の振興のため、毎年この時期に同組合が行っているものです。

出合橋の河川敷では、二名保育所の年長児21名が放流をお手伝い。園児たちは、アユの入った小さなバケツを勢いよくひっくり返したり、1匹ずつ丁寧につかんで放流したり、貴重な体験を通して自然の大切さを学んでいました。



はだしで農作業を体験

青葉幼稚園「田植え」

青葉幼稚園の園児は6月12日、宮城悦郎さん＝徳丸＝が所有する水田で、田植えを行いました。

これは、農業を通して自然に触れてもらおうと同園が地元農業区の協力を得て、毎年行っているものです。

当日は、園児とその保護者、未就園児など約130人が参加。園児たちは、転ばないように注意しながら、楽しそうに苗を植えていました。9月には園児自身が稲刈りも行い、「おにぎり大会」を開催する予定です。



みんなで町をきれいに

第49回郷土を美しくする清掃

「郷土を美しくする清掃」は6月2日、塩屋海岸、北黒田・新立海岸をはじめ、公園や神社など町内各所で行われました。

この清掃は、昭和45年から続けられているもので、今年で49回目となります。

多くの人が集まった北黒田・新立海岸では、熊手でごみを集める人と集められたごみを袋に入れる人に分かれ、協力して清掃を実施。親子で参加する小さな子どもも多く、一生懸命ごみを集めるほほえましい姿が見られました。

当日は、町内各所で小中学生やPTA、老人クラブ、町内企業従業員など、約2,000人が参加。みんなで協力して町内の美化に努め、約5トンの可燃ごみと2トン車2台分の不燃ごみを集めました。

清掃後きれいになった各所では、町民の皆さんのすがすがしい笑顔が輝いていました。



㊤北黒田・新立海岸。子どもから大人まで多くの人が参加 ㊦親子で海岸をきれいに ㊧ごみ袋を手に清掃開始